



**Q** 経営改善に向けて、交通局はどんな取組みをしてきたの？

**A** 交通局では、経費の削減に努めてきたほか、運賃収入等を上げるため、お客様の利便性向上と利用者増につながる取組みも行ってきました。



## 利便性の高い乗車券制度の実施

仙台MaaSでデジタルチケットの販売を実施。

東北絆まつり  
地下鉄24時間券  
大人 500円  
小児 250円

地下鉄24時間・  
36時間券

市バス全区間  
一日乗車券

休日のんびりバス旅きっぷ



土日祝日限定  
大人：1,000円  
小児：500円

（令和7年7月5日（土）～  
令和8年3月29日（日）  
の土日祝日が対象）

## イベントの開催・オリジナルグッズの販売

【イベントの開催】

- 夏の親子探検ツアー
- 交通フェスタ
- バス・ちかまつり



【オリジナルグッズの販売】

各種グッズをイベント等で販売

南北線新型車両チョコロQ ▶



## 子育て世代の利便性向上

【小児運賃無料化（ハッピー・ファミリー・ライド）

実証実験】▶ 令和7年度：令和7年10月4日（土）～令和8年3月29日（日）の土日祝日・冬休みに実施

【学都仙台フリーバスの販売】

通学以外に買い物やアルバイト等の目的でも購入できるお得な通学定期券です！



【地下鉄における子育て応援の取組み】

- 子育て応援自動販売機の設置
- ベビーカーレンタルサービスの提供

## 地元スポーツチームとの連携

- 各チームのホームゲーム開催に係る広報・宣伝への協力
- 駅構内大型ラッピング装飾
- 各チームマスコットによる乗車マナー啓発



©1998 VEGALTA



これまでもいろいろな取組みを進めてきたんだね。

次回は、これまで市バスの乗車人員や運賃収入がどのように推移してきたのか、解説します。

